## 般社団法人日本科学飼料協会からのお知らせ



# in vitroで 人工消化試験 をしませんか?

消化酵素を用いて「乾物(DM)消化率」、「たん白質(CP)消化率」、「可消化 エネルギー(DE) 」等の人工消化試験を行っています。お気軽にご相談ください。

飼料の栄養価を評価するには、動物を用いた消化試験は欠かせません。

しかし、ペレット成型する際の最適温度を調べたり、賦形剤を検討したり、その都度、動物を用いて消化 分解性を調べるのは、時間やコストが掛かり大変。

そこで、動物での消化試験の前に、人工消化試験をスクリーニングに採用しませんか?

学会や雑誌で、様々な消化酵素を用いた人工消化試験が紹介されています。

#### 繊維分解酵素

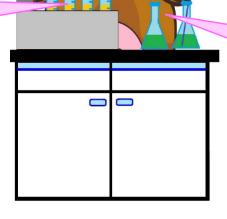
セルラーゼ、キシラナーゼ

#### たん白質分解酵素 飼料分析基準(ペプシン消化率)

ペプシン

#### 細胞壁分解酵素

アラバナーゼ、セルラーゼ、 β-グ ルカナーゼ、ヘミセルラーゼ、およ びキシラナーゼを含め広範囲な カルボヒドラーゼを含む多酵素 複合体



### ブタすい臓由来 酵素製剤

トリプシン、キモトリプシン、リ パーゼ、アミラーゼなどを含む酵 素製剤

詳しくは、ホームページ (http://www.kashikyo.or.jp/) または、科学飼料研究センターまで ご相談ください。

#### 一般社団法人日本科学飼料協会

科学飼料協会

科学飼料研究センター

〒286-0133 千葉県成田市吉倉821 TEL 0476-35-0411 FAX 0476-35-0557

ホームページ: http://www.kashikyo.or.jp E-メール: info@kashikyo.lin.gr.jp

#### 本部 技術部

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 TEL 03-3297-5631 FAX 03-3297-5633

科学飼料研究センターでは、お客様のニーズにお応えした飼料・飼料添加物および動物用医薬品等に関するさまざまな動物試 験および飼料の品質管理や安全性等に関する分析試験を行っています。